

北海道学び推進月間の取組

後志教育局
平成30年12月7日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

【読書に対する意欲を向上させる環境整備】

泊村立泊小学校では、児童の読書に対する意欲を向上させるための環境整備の充実を図っています。1階と2階の図書コーナーには、児童会活動で児童が主体的に展示コーナーを設置したり、児童が気軽に図書を手にとることができるコーナーを設置したりするなどの工夫を行っています。



【図書コーナーの様子】

また、朝読書の時間を設定したり、家庭での読書を充実するため学校便りや懇談等で、家庭に呼び掛けたりするなど、学校と家庭が連携を図り読書の充実を図る取組を進めています。児童から「読書が楽しいので、今日も本を借りに来ました」という声が聞かれ、図書の貸し出し冊数も増加するなど、児童の読書に対する意欲の向上が見られるようになりました。

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

倶知安高校では、今年度、「新学習指導要領に対応した授業改善・充実を目指す実践的研究」を研修テーマとして、近隣の高等学校と連携し、組織的に授業改善に取り組んでいます。

11月27日（火）に倶知安高校で開催された研修会では、管内の高等学校6校から46名の先生が参加し、北海道教育大学大学院の姫野准教授による基調講演や先進校の視察報告などが行われました。



【基調講演の様子】

基調講演では、高等学校が直面している課題が取り上げられ、教師の「学び観」を転換することの重要性が示されました。また、視察報告では、先進校の取組を踏まえ、自校の人的・物的資源や地域等の外部の資源を整理することの重要性について述べられるなど、参加した教員は自校の授業改善の推進に向けて、今後の方向性を見出すことができました。

「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 小樽市立朝里小学校6年 佐山心菜さん
「学び合い 新しい自分が 見えてくる」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 余市町立旭中学校2年 野澤恭平さん
「学びの道をこの北海道から開拓しよう」

北海道小樽潮陵高等学校1年 浅利桃花さん
「未来への 一歩はいつも 君の手に」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。